

バイオマス産業都市推進協議会 先進事例視察報告

開催日時：2022年10月3日（月）～4日（火）

視察場所：2022年10月3日

京都市

京都市南部クリーンセンター、環境学習施設「さすてな京都」、京都市廃食用油燃料化施設

2022年10月4日

京都府南丹市 八木バイオエコロジーセンター

参加者：50名（のべ人数）

視察概要（行程）

日付	時間	視察先
10/3 (月)	12:40 集合 13:00 出発	JR 京都駅 八条口 集合【京都市南区東九条西山王町】 ※昼食は各自
	13:00～13:30	移動(タクシー)
	13:30～17:00	京都市南部クリーンセンター 環境学習施設「さすてな京都」、京都市廃食用油燃料化施設 視察 【京都府京都市伏見区横大路八反田29 TEL:075-606-2548】
	17:10～17:30	移動(タクシー TEL:075-602-7777)
	17:30～18:15	ホテルエルシエント京都 チェックイン 【京都市南区東九条東山王町13 TEL:075-672-1100】
	18:15～18:30	移動(徒歩)
	18:30～20:30	意見交換会・交流会 串だいにんぐ 炭焼浪漫家 京都八条口店 【京都市南区東九条上殿田町30 TEL:050-5366-4418】
10/4 (火)	8:20 集合 8:30 出発	ホテルエルシエント京都 【京都市南区東九条東山王町13 TEL:075-672-1100】
	8:30～10:00	移動(バス)
	10:00～12:00	八木バイオエコロジーセンター 視察 【南丹市八木町諸畑千田1-1 TEL:0771-42-5345】
	12:00～12:15	移動(バス 京都南丹観光 TEL:0771-62-1222)
	12:15～13:15	昼食 八光館 【京都府南丹市八木町八木河原31-4 TEL:0771-42-2221】
	13:15～15:00	移動(バス)
	15:00 解散	JR 京都駅 八条口 解散【京都市南区東九条西山王町】

	見学施設等
1. 京都市南部クリーンセンター	<p>1. 施設概要 施設名称：京都市南部クリーンセンター 所在地：〒612-8253 京都市伏見区横大路八反田2-9番地 工期：平成25年度～令和元年度</p> <p>2. 建設概要 敷地面積：約16.3ha 建築面積：13,460㎡</p> <p>3. プラント概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ●焼却施設 焼却能力：500t/日 炉数：250t/24h×2炉 炉型式：ストーカ炉/全連続燃焼式 ●バイオガス化施設 処理能力：60t/日 処理方式：メタン発酵 対象ごみ：燃やすごみ 発電設備：最大1,000kW ●選別資源化施設 処理能力：180t/6h（破砕140t、切断40t） 処理方法：破砕・切断 対象ごみ：大型ごみ・持込ごみ（粗大ごみ・弾性ごみ） ●環境学習施設「さすてな京都」 <ul style="list-style-type: none"> ・焼却炉やごみ発電、バイオガス施設など、ごみ処理に要する大規模な施設を間近で見学できるとともに、焼却処理やエネルギー回収の技術などを学ぶことができる。 ・京都市南部クリーンセンターは、「ごみ焼却施設」をはじめ、生ごみ等を発酵させて発生したメタンガスを活用する「バイオガス化施設」に加え、大型ごみなどを破砕して資源となる鉄やアルミニウムを選別回収する「選別資源化施設」を併設している。 ・「環境学習施設」は、クリーンセンターのイメージを一新する施設として整備された。

4. 視察の様子



さすがな展望台（煙突）



バイオマス産業都市推進協議会 裕会長の開会挨拶



農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課 清水課長の来賓挨拶



京都市環境政策局地球環境・エネルギー担当 猪田局長の挨拶



ボイラ・排ガス処理設備についての説明



生ごみの搬入 プラットホーム

2. 京都市廃食用油
燃料化施設

1. 施設概要

所在地：京都市南部クリーンセンター構内

〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町447番地

生産規模：バイオディーゼル燃料 5,000ℓ/1日

軽油混合燃料(BDF：軽油=5.95) 6,000ℓ/1日

工期：平成14年11月～平成16年5月

- ・自治体が運営するバイオディーゼル燃料製造施設としては、国内最大の精製能力を持つ。
- ・3槽構造8行程の製造プロセスにより不純物を最大限除去できる機能を持つ。
- ・市バスの燃料とするために、軽油と一定の割合で混合する装置を設けている。
- ・精製工程の多くを自動化しており、火災防止設備を採用するなど安全にも配慮している。

2. 視察の様子



京都市廃食用油燃料化施設 入口



原料貯蔵タンク



製品貯蔵タンク



出荷設備

3. 八木バイオエコロジーセンター

1. 施設概要

所在地：〒629-0103 京都府南丹市八木町諸畑千田1-1

●メタン施設

B I M A消化槽：2,100m³（中温発酵）、600m³（高温発酵）
 ガスホルダー：500m³×1基、350m³×1基、（吊下げ式、樹脂製）
 発電機：70kW×2台、80 kW×1台
 脱水機：スクリュープレス式脱水機×2台
 廃水処理設備：生物脱窒処理+膜分離+凝集沈殿+オゾン処理

●堆肥施設

発酵棟：992.8m³×2棟
 堆肥舎：1,051.2m³×2棟、1,395m³×1棟
 製品庫：799.2m³×1棟
 攪拌機：ロータリー式攪拌機×2台、攪拌機×4台

- ・センターには、「メタン施設」と「堆肥施設」が設けられている。
- ・メタン施設は八木地区から発生する乳牛ふん尿と豚ふん尿、近隣の豆腐工場から発生するおからなどを受け入れてメタン発酵している。メタン発酵消化液については、液肥散布機で農地に散布している。
- ・肉牛ふんとメタン発酵施設から出る脱水ケーキは、完熟堆肥として農家向けに販売し、農地還元している。

2. 視察の様子



ハホバイオエコロジーセンター入口



B I M A 消化槽



堆肥化施設

ロータリー式攪拌機（脱水ケーキと肉牛ふん尿を一次発酵）



堆肥化施設（一次発酵した堆肥を移送し、定期的に攪拌後次の槽へ移送）



製品庫（堆肥を袋詰めして出荷）

4. 昼食(八光館)

1. 八光館

京都府南丹市八木町八木河原31-4

2. 昼食の様子

南丹市の西村市長より、視察で訪問した八木バイオエコロジーセンターの今後のあり方などについて話があり、その後名刺交換の時間が設けられた。



京都府南丹市 西村市長挨拶